

2023年 7月20日(木)

10:00-19:00

※スポンサーエリアは10:00よりオープン

※セミナーは13:00開始

入場無料
事前登録不要

北海道 洋上風力フォーラム2023

開会挨拶	13:00~13:05	青山 剛	室蘭市長
挨拶(オンライン)	13:05~13:10	Jean-Eric Paquet	駐日欧州連合(EU)大使
挨拶	13:10~13:15	Peter Taksøe-Jensen	駐日デンマーク王国大使
基調講演 ①	13:15~13:25	上村 浩貴	MOPA理事長 DENZAI株式会社 代表取締役社長 CEO
基調講演 ②	13:25~13:45	加藤 仁	一般社団法人日本風力発電協会(JWPA) 代表理事
休憩	13:45~13:55		
パネルディスカッション1	13:55~14:55	北海道は"風の王国"になれるか ~洋上風力と北海道の未来~	
		片岡 春雄 唐澤 大 Russell Cato Sune Strøm 中西 俊司 Henriette Holm 山田 正人 大林 ミカ	寿都町長 SSEパシフィコ株式会社 社長 Siemens Gamesa Renewable Energy株式会社 代表取締役社長 駐日デンマーク王国大使館 経済外交エネルギー担当公使参事官 留萌市長 Orsted Japan株式会社 代表取締役社長 MHIベスタスジャパン株式会社 代表取締役社長 公益財団法人 自然エネルギー財団 事業局長
		モデレータ	
休憩	14:55~15:10		
基調講演 ③	15:10~15:20	小鷹 雅晴	石狩市企画経済部長
基調講演 ④	15:20~15:35	渋谷 正信	株式会社 渋谷潜水工業 代表取締役 ※オンライン配信はありません
パネルディスカッション2	15:35~16:20	洋上風力は漁業と共に栄える未来を描けるか	
		大下 哲則 河邊 玲 鈴木 亨 田中 充 眞鍋 修一 吉田 昌弘	五洋建設株式会社 専務執行役員 土木部門洋上風力事業本部長 長崎大学 海洋未来イノベーション機構 環東シナ海環境資源研究センター教授(センター長) 株式会社市民風力発電 代表取締役 法政大学名誉教授 同地域研究センター客員教授 コスモエコパワー株式会社 取締役専務執行役員 DENZAI株式会社 取締役専務執行役員
		モデレータ	
休憩	16:20~16:35		
基調講演 ⑤	16:35~16:55	石川 寛樹	海洋産業タスクフォース 運営委員会 委員長
パネルディスカッション3	16:55~17:55	洋上風力と地域経済への波及効果	
		會澤 祥弘 佐藤 俊介 成田 一人 林 龍太 Stefan Bengtsson 横山 諭 横山 勉 大林 ミカ	會澤高圧コンクリート株式会社 代表取締役社長 丸紅洋上風力開発株式会社 国内事業第一部長 株式会社栗林商会 取締役 株式会社商船三井 電力・風力エネルギー事業群第二ユニット長 スコットランド国際開発庁 投資担当・日本副代表 北海道 経済部ゼロカーボン推進局 ゼロカーボン産業課 風力担当課長 日本郵船株式会社 執行役員 公益財団法人 自然エネルギー財団 事業局長
		モデレータ	
休憩	17:55~18:10		
パネルディスカッション4	18:10~18:55	洋上風力による電力の利活用	
		勝岡 洋一 佐藤 直紀 長家 一浩 中山 智香子 藤井 良基 吉田 昌弘	日揮株式会社 理事 プロジェクトソリューション本部 部長 株式会社パワーエックス 船舶・風力発電事業部 事業部長 三菱製鋼室蘭特殊鋼株式会社 室蘭製作所長 イベルドロージャ・リニューアブルズ・ジャパン株式会社 社長 JFE スチール株式会社 専門主監 兼 GXインフラ開発部長 DENZAI株式会社 取締役専務執行役員
		モデレータ	
閉会挨拶	18:55~19:00	関根 博士	WIND HOKKAIDO委員長 三菱製鋼 顧問(前取締役常務執行役員)

パネルディスカッション 1 パネリストプロフィール



片岡 春雄 寿都町長

1949年旭川市生まれ。1971年専修大学商学部を卒業後、1975年に寿都町役場へ奉職。学校教育係長在職中に、風力発電に着目し自治体として初となる「寿都風力発電所」建設に携わり、農政課長在職中には「寿都温泉風力発電所」を建設、2001年に寿都町長に就任し、その後も自治体として先駆的に風力発電事業に取り組んできた。また、2018年より「風力発電推進市町村全国協議会」会長の職も務めている。現在6期目。



唐澤 大 SSEパシフィコ株式会社 社長

2002年、伊藤忠商事に入社し、発電所開発会社等への投資業務に従事した後、三菱商事にて欧州・中東のIPP事業に取組む。その後、三菱商事の完全子会社（在オランダ）の副社長として、オランダ・英国における洋上風力発電開発・新規事業開発をリード。2019年にパシフィコ・エナジーに入社、COOとして洋上風力発電開発、太陽光発電所の建設管理等を統括。2021年、SSEパシフィコ設立にあたり上級副社長 / COOに就任、洋上風力発電の開発を統括する。2023年7月より現職。



Russell Cato Siemens Gamesa Renewable Energy株式会社 代表取締役社長

エネルギー分野に20年以上携わり、化石燃料からクリーンな再生可能エネルギーへの焦点の変遷を経験。シーメンス・ガメサ日本法人にて事業拡大を率いる現職に就く以前はダイフクBCSにおいて統合プロジェクト・マネージャーおよびグローバルプロセス改善マネージャー、シーメンスオーストラリアにおいて変革管理・ビジネス改善マネージャー等、またオーストラリア三菱商事において産業機械部門マネージャー等の役職を担う。



Sune Strøm 駐日デンマーク王国大使館 経済外交エネルギー担当公使参事官

再生可能エネルギー、特に風力発電が社会のグリーン変革の柱となるような規制の枠組みを設計することを専門とする上級エネルギーエキスパート。風力発電、特に欧州、アジアや米国の洋上風力発電の新しい市場に関する規制問題について13年以上の深い経験を有する。また、規制の枠組みだけでなく、風力発電産業が地域から国、そして世界レベルの経済活動にどのように貢献するかについても見識を有する。2020年11月より現職。それ以前は、オーステッド社にて7年間、政策制度の専門家として勤務。オーステッド社ではデンマークをはじめとして各国の洋上風力制度について、海洋空間計画から入札枠組み設計、洋上ウィンドファームの撤去枠組みまで、すべてのプロセスに関して従事した。さらにそれ以前は、デンマークの幅広い風力産業の業界団体であるデンマーク風力産業協会にてチーフエコノミストとして勤務した。同協会では、風力発電の市場枠組みや、デンマークの風力産業サプライチェーンの利益を支援することに注力した。



中西 俊司 留萌市長

平成15年4月 企画財政部企画調整グループマネージャー
平成18年7月 政策経営室長
平成20年4月 産業建設部長
平成22年7月 留萌市副市長（1期）
平成26年7月 留萌市副市長（2期）
平成29年12月 留萌市副市長辞任
平成30年3月 留萌市長（1期）
令和4年3月 留萌市長（2期）現在に至る



Henriette Holm Orsted Japan株式会社 代表取締役社長

エンジニアリング関連コンサルティング会社でのフィリピン勤務を経て、1996年にオーステッド入社。スカンジナビア地域の市場開発や英国OFTO取引（他事業者への売却取引）責任者、世界最大の洋上風力発電所であるホーンズー1、2および台湾と米国でのアセットマネージャーを歴任し、2020年には世界最大の洋上風力市場である英国でのプロジェクト開発・プログラム担当のシニアディレクターに抜擢され、多様なプロジェクトを手掛ける。2022年には英国のヴァイスプレジデント（VP）に就任。2023年1月よりオーステッド・ジャパン代表取締役社長として洋上風力が本格化する日本での事業を管掌。コペンハーゲン・ビジネススクールにてエグゼクティブMBA取得。オーフス大経済学修士。



山田 正人 MHIベスタスジャパン株式会社 代表取締役社長

1987年、三菱重工業に入社。大型火力発電プラント、風力タービンの営業、事業開発を経て、2014年、三菱重工とデンマークのヴェスタス社の合併による洋上風力タービン・メーカー、MHI Vestas Offshore Windの設立に伴い、副社長最高戦略責任者としてデンマークに赴任。6年にわたる事業戦略、広報、政策関係を統括したのち、2020年4月に副社長アジア太平洋地域統括として帰国する。2021年2月にベスタスの総代理店、MHIベスタスジャパン株式会社設立に伴い現職に就任。2020年6月から日本風力発電協会（JWPA）副代表理事。

パネルディスカッション 2 パネリストプロフィール



大下 哲則 五洋建設株式会社 専務執行役員 土木部門洋上風力事業本部長

1984年五洋建設入社。土木設計部、国際事業本部シンガポール勤務、土木電力営業部長等を経て、2009年より北九州市沖のNEDO管轄洋上風力発電実証研究施設建設検討業務を担当。2012年札幌支店長、2015年執行役員中国支店長、2017年常務執行役員、2020年専務執行役員洋上風力事業本部長、現在に至る。



河邊 玲 長崎大学 海洋未来イノベーション機構 環東シナ海環境資源研究センター | 教授（センター長）

2003年 長崎大学水産学部 助教授
2014年 長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科 附属環東シナ海環境資源研究センター 教授
2016年 長崎大学海洋未来イノベーション機構環東シナ海環境資源研究センター 教授
2020年 長崎大学海洋未来イノベーション機構環東シナ海環境資源研究センター センター長
専門分野 魚類行動生態学、移動生態学、バイオロギング
洋上風力発電関連の主な委員・著作・外部講演等
・長崎県市町村洋上風力発電等導入検討協議会 会長
・長崎県洋上風力発電事業に係るソーニング実証事業 協議会委員
・Karama KS., Kawabe R. et al (2021) Movement pattern of red seabream Pagrus major and yellowtail Seriola quinqueradiata around Offshore Wind Turbine and the neighboring habitats in the waters near Goto Islands, Japan. Aquaculture and Fisheries 6(3), 300-308.



鈴木 亨 株式会社市民風力発電 代表取締役

1957年、北海道生まれ。自治体職員、生協職員を経て、1999年7月、NPO法人北海道グリーンファンド設立し理事・事務局長に就任し、2011年3月より理事長に就任（現職）。2001年2月、株式会社市民風力発電を設立し代表取締役就任（現職）。市民風車のパイオニアとして、各地で地域主導による風力発電事業の開発、運転保守管理、SPC運営管理等、事業化支援、地域活性化支援に取り組む。2012年9月株式会社ウェンティ・ジャパン取締役副社長、2012年12月一般社団法人北海道再生可能エネルギー振興機構理事長、2017年12月バイオガスエナジー株式会社代表取締役、2020年3月バイオマスリサーチ株式会社代表取締役、2020年7月一般社団法人全国ご当地エネルギー協会代表理事の他、役員就任中の事業目的法人も多数あり。



田中 充 法政大学名誉教授 同地域研究センター 客員教授

東京大学理学部・同大学院修了、川崎市勤務を経て2001年4月より法政大学社会学部教授に着任。2014年～2016年同社会学部部長。中央環境審議会環境影響評価小委員会委員等のほか埼玉県・神奈川県等の審議会、検討会の委員を務める。現在、環境省等の洋上風力発電の環境影響評価制度の最適化に在り方に関する検討会、再生可能エネルギーの適正な導入に向けた環境影響評価のあり方に関する検討会等の委員。主な著書に「環境アセスメント学入門」（恒星書房生書閣）、「環境アセスメント学の基礎」（同）等多数。



眞鍋 修一 コスモエコパワー株式会社 取締役専務執行役員

1990年株式会社小松製作所入社、1997年エコ・パワー株式会社入社（現コスモエコパワー株式会社）、2008年取締役事業開発部長、2010年4月一般社団法人日本風力発電協会 政策部会副部会長、2018年コスモエコパワー株式会社常務取締役、2021年2月一般社団法人日本風力発電協会 理事就任、2023年コスモエコパワー株式会社専務取締役



青山 剛

室蘭市長

平成14年3月 室蘭工業大学大学院工学研究科博士前期課程修了

平成14年4月 室蘭工業大学助手

日本工学院北海道専門学校非常勤講師

平成15年5月 室蘭市議会議員に当選

平成19年5月 室蘭市議会議員 (2期)

平成23年5月 室蘭市長に就任

平成27年5月 室蘭市長に再選

令和元年5月 室蘭市長に再選

令和5年5月 室蘭市長に再選



Jean-Eric Paquet

駐日欧州連合(EU)大使

ジャン＝エリック・パケは、2022年秋より駐日欧州連合 (EU) 大使を務める。パケ大使はこれまで欧州委員会ですさまざな役職を歴任し、多様な分野でEUの政策形成に貢献してきた。2018年～2022年まで研究・イノベーション総局長として、「欧州イノベーション会議」の創設に関わり、主要な環境・社会・経済上の課題の解決を目指す複数の「EUミッション」の立ち上げなど、研究・イノベーション分野における組織を挙げた取り組みを推進した。

欧州近隣政策・拡大交渉総局西バルカン局長や駐モルタニアEU大使 (2004～2007年) を務め、豊富な国際経験を積む。2015年～2018年まで、欧州委員会の副事務総長 (より良い規制・政策調整担当) として、「欧州グリーンディール」に関する全ての政策分野を担当した。欧州横断運輸ネットワーク (TEN-T) 政策の立案を主導し、欧州の輸送インフラ政策や投資戦略、単一欧州鉄道領域および内陸水路・港湾政策も担当した。業務においては、常に共創と組織的な変革を意思決定プロセスの中心に据え、また公共政策の課題設定に一般市民がより関与すべきだとの信念を持つ。



Peter Taksøe-Jensen

駐日デンマーク王国大使

コペンハーゲン大学法学部卒業後、法務省を経て1987年デンマーク外務省入省。オーストリア及びベルギーに駐在。デンマーク外務省法務局長 (2003-2008)、国連本部法務局次長 (2008-2010) などの要職を歴任。国連本部法務局次長時代には法務局全体の方向性を指揮。その後駐米デンマーク王国大使 (2010-2015)、駐インドデンマーク王国大使 (2015-2019、ブータン、モルディブ、スリランカ、ネパール兼任) を務める。その他、「デンマーク外交と防衛政策の推移～デンマークの外交及び安全保障政策～」報告書統括 (2016)、ハーグ常設仲裁裁判所 (PCA) のオーストラリア・東ティモール間海洋境界線調停委員会委員長任命 (2016-2018) などの実績がある。2019年より現職。2022年ダンネブロ騎士勲章3等級受章。

モデレータプロフィール



大林 ミカ

公益財団法人 自然エネルギー財団
事業局長

2011年8月公益財団法人自然エネルギー財団の設立に参加。財団設立前はアブダビに本部のある「国際再生可能エネルギー機関 (IRENA)」でアジア太平洋地域の政策・プロジェクトマネージャーを務める。2008年から2009年まで駐日英国大使館にて気候変動政策アドバイザー。2000年に環境エネルギー政策研究所の設立に参加。2000年から2008年まで副所長。1992年から1999年末まで原子力資料情報室でエネルギーやアジアの原子力を担当する。2017年に国際太陽エネルギー学会より「グローバル・リーダーシップ・アワード」を受賞。大分県中津市生まれ、北九州市小倉出身。



吉田 昌弘

DENZAI株式会社
取締役専務執行役員

大学院にて材料工学を学んだのち、三菱重工業に入社。入社後は鋼構造物の製造、2005年からは風車の製造・サプライチェーン構築に従事し、MHI Vestas Offshore Windを含め複数の生産部門の立ち上げを国内外で牽引し、日本の洋上風車サプライチェーン構築に貢献。2021年に株式会社レノバに入社し、洋上風力発電事業を中心にエンジニアリング全般を推進。2023年4月より、DENZAI株式会社に入社し現任。



上村 浩貴

MOPA理事長 | DENZAI株式会社 代表取締役社長 CEO

2011年株式会社電材重機入社。2013年株式会社関東重機(現:電材エンジニアリング)の完全子会社化に伴い、取締役事業再生責任者に就任し、風力建設・メンテナンス事業への新規参入と海外進出を主導。

2019年からは台湾法人の董事長に就任し、洋上風力建設事業を統括。

2022年よりDENZAI株式会社とDENZAIインターナショナルの代表取締役社長CEOに就任。

2019年に室蘭市や地元企業と洋上風力勉強会を開催したことをきっかけとして、室蘭の洋上風力拠点化による地域経済の復興を目指す「MOPA(室蘭洋上風力関連事業推進協議会)」を2020年に発足させ、創業の地の地方創生に取り組んでいる。



加藤 仁

一般社団法人日本風力発電協会(JWPA) 代表理事

1977年三菱重工業(株)入社、2006年原動機事業本部原動機業務部長

2008年エネルギー・環境事業統括戦略室長 2011年原動機事業本部副本部長

2013年執行役員原動機事業本部副本部長兼風車事業部長

2014年MHI Vestas Offshore Wind A/S Co-CEO

2017年日本風力開発(株)副会長 現在に至る

2018年一般社団法人日本風力発電協会代表理事 現在に至る



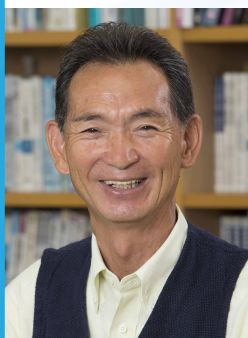
小鷹 雅晴

石狩市企画経済部長

石狩市企画経済部政策担当 参事

企画経済部政策担当 室長

企画経済部 部長



渋谷 正信

株式会社 渋谷潜水工業 代表取締役

1980年11月 株式会社 渋谷潜水工業設立 代表取締役

2012年12月 一般社団法人日本漁場藻場研究所 設立 代表理事

2015年6月 一般社団法人海洋エネルギー漁業共生センター 設立 理事

2010年より海の生態系や漁業と海洋再生可能エネルギーが共生・協調するモデルづくりをすすめ、地域や漁業が豊かになる共存共栄のデザインを開拓、次世代につなげる持続可能な社会を促進させる活動を積極的に行っている。



石川 寛樹

海洋産業タスクフォース 運営委員会 委員長

1977年4月 石川島播磨重工業(株)入社

1992年7月 同社 呉第一工場 呉エンジニアリング部 装置グループ 課長

2002年7月 同社 呉第一工場 工作部 次長 兼 プロジェクトグループ 部長

2002年10月 (株)アイ・エイチ・アイマリンユナイテッドに転籍

呉工場 工作部 次長 兼 プロジェクトグループ 部長

2005年4月 同社 呉工場 生産管理部 部長

2009年4月 同社 呉工場 工作部 部長

2010年6月 同社 取締役 呉工場長

2013年1月 ジャパンマリンユナイテッド(株)に転籍

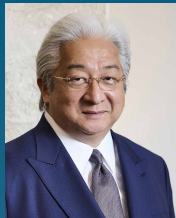
取締役 専務執行役員 エンジ・ライフサイクル事業本部 部長

2014年4月 同社 取締役 専務執行役員 海洋・エンジン事業本部 部長

2018年4月 同社 代表取締役 兼 副社長執行役員 企画管理本部 部長

2020年4月 同社 顧問(～2021年3月)

パネルディスカッション 3 パネリストプロフィール



會澤 祥弘

會澤高圧コンクリート株式会社
代表取締役社長

1965年生まれ。北海道静内町出身。1988年中央大学卒業後、日本経済新聞社に入社。東京編集局の記者、米州編集総局にニューヨーク特派員(国連担当記者)として活躍。98年に會澤高圧コンクリート株式会社に入社し、2008年10月に會澤高圧コンクリートの第三代表取締役社長に就任。2006年にアイザワ技術研究所を創設し、欧米トップ理系大学との産学協力を幅広く展開。バイオ、AI、ロボティクス、ドローン、再生可能エネルギーなどの先端テクノロジーとコンクリートマテリアル技術を“掛け算”して、脱炭素時代をリードする新たな事業価値の創造を目指している。趣味は「旅」。座右の銘は「縁に前に転がせ」。



成田 一人

株式会社栗林商会
取締役

1971年北海道室蘭市生まれ。1996年群馬大学卒業後、株式会社栗林商会に入社、運輸営業部配属。2000年本社(室蘭)配属後、ポートセールを通じて貨客船や特殊船誘致などの港活利用促進活動を行う。
2020年1月からはMOPA(室蘭)洋上風力関連事業推進協議会の事務局として活動、2023年6月同事務局長に就任。

1996年4月 株式会社 栗林商会入社 札幌支店千歳営業所 配属
1997年3月 同社 札幌支店 運輸営業課 配属
2000年3月 同社 本社 運輸営業部 船舶代理店課 配属
2023年6月 同社 運輸営業部 取締役 就任
2023年6月 MOPA事務局長 就任



佐藤 俊介

丸紅洋上風力開発株式会社
国内事業第一部長

- 経済産業省 福島浮体式洋上風力実証事業(2013年ー2022年):
 - ・コンソーシアム幹事企業として以下業務を遂行
 - ・漁業共存策立案
 - ・浮体式洋上風力保険の付保
 - ・浮体設備へのアクセス方法検証を通じたO&M戦略構築
- NEDO 北九州次世代浮体式洋上風力発電システム実証研究(2014年ー現在):
 - ・幹事企業としてコンソーシアムをリード
 - ・2018年海洋工事着手、2019年運転開始を達成
- 洋上風力案件開発(2013年ー現在):
 - ・国内複数海域における開発責任者として入札戦略、調達戦略、売電戦略、ファイナンス戦略等を担う各パッケージマネージャーを統率



林 龍太

株式会社商船三井
電力・風力エネルギー事業群第二ユニット長

早稲田大学政治経済学部卒業。国内証券会社に就職。
支店営業の後、商品企画部に投資信託のパフォーマンス分析を担当。
2001年 株式会社商船三井に転職
LNG船事業に22年間従事。国内外の複数プロジェクトのプロジェクリーダーとして関与。
2004〜2008年ロンドン勤務。
2021年〜 LNG船舶長
2023年〜 現職



Stefan Bengtsson

スコットランド国際開発庁
日本代表

ステファン・ベングトソンは、スコットランド国際開発庁(SDI)のアジア太平洋地域統括・投資担当ディレクターとして、東京の英国大使館を拠点に活動しています。ベングトソンは、主に洋上風力発電とグリーン水素に焦点を当て、スコットランド政府のグリーンエネルギー移行政策を支えるサプライチェーンへの外国直接投資の実現において主導的な役割を担っています。前職では、日本で英国国際通商省の投資担当の副代表を務めていました。



横山 諭

北海道
経済部ゼロカーボン推進局 ゼロカーボン産業課 風力担当課長

1991年4月北海道庁入庁。胆振総合振興局産業振興部長、北海道立総合研究機構工業試験場技術支援部長、経済環境エネルギー課省エネ・新エネ促進室長を経て、2023年6月から現職。担当は洋上風力をはじめとする風力発電の導入促進や立地に関する地域共生、関連産業の振興・人材育成支援など。



横山 勉

日本郵船株式会社
執行役員

1970年 北海道札幌市出身。1993年 北海道大学法学部卒業後、日本郵船入社。以来LNG輸送船、自動車輸送船等の事業に携わる。2014年よりヨーロッパを統轄するNYK GROUP EUROPE LTD. Londonに転出。
2019年にグリーンビジネスグループに異動し、2021年にグループ長、2023年より執行役員に就任。洋上風力発電関連事業の他、アンモニア関連事業、LNGバンカリング事業、CCUS事業等、ゼロエミッションに関わる事業を掌管している。

パネルディスカッション 4 パネリストプロフィール



勝岡 洋一

日揮株式会社
理事 | プロジェクトソリューション本部 部長

1992年 北海道大学工学部土木工学科卒業。同年4月日揮株式会社入社後 一貫して海外プロジェクト建設に従事。キャリアの半分以上を海外現場で過ごす。主な駐在国はシンガポール、カタール、ベネズエラ、インドネシア、UAEなど。2017年オイル&ガス統括本部 建設部長代行。2018年新設のウィンドパワープロジェクト室長に就任。2019年よりウィンドパワープロジェクト事業部長を経て2020より現職。HSSEコミッティー 副委員長も兼務。



佐藤 直紀

株式会社パワーエックス
船舶・風力発電事業部 事業部長

国内の大学で電気工学を学んだのち、イギリスの大学院にて経営学を学ぶ。15年以上環境エネルギー業界に従事し、M&A、取締役、新規事業企画等、様々なグローバルビジネスに携わる。株式会社パワーエックスに参画後は、船舶・風力発電事業を統括。



長家 一浩

三菱製鋼室蘭特殊鋼株式会社
室蘭製作所長

平成2年4月 三菱製鋼株式会社 入社
同 6年4月 三菱製鋼室蘭特殊鋼株式会社へ出向(製造部製鋼課)
同 19年5月 同社 製造部精整グループマネージャー
同 21年4月 三菱製鋼株式会社 経営企画部
同 27年8月 同社 製造部圧延グループマネージャー
同 29年7月 同社 管理部長
同 29年10月 同社 取締役兼管理部長事務取扱
令和3年6月 同社 取締役副社長兼室蘭製作所長事務取扱



中山 智香子

イベルドローラ・リニューアブルズ・ジャパン株式会社
社長

イベルドローラ・リニューアブルズ・ジャパン社長。プロセスエンジニアとしてキャリアをスタートし、10億ドル規模の海外エネルギープロジェクトのプロジェクトマネージャーとしてキャリアを積み、欧米の石油会社で、石油・ガスのバリューチェーン全体を通じてプロジェクトの価値を最大化する事業開発職に転身。世界有数のエネルギー企業において、エネルギー・インフラ投資に関する戦略的パートナーシップの組成及び管理を行うなど、会社を代表する経営幹部として活躍。企業戦略立案、ポートフォリオマネジメント及び子会社経営にも携わる。



藤井 良基

JFE スチール株式会社
専門主監 兼 GXインフラ開発部長

昭和60年4月 日本鋼管株式会社 入社
平成22年4月 JFEスチール株式会社 東日本製鉄所(千葉地区)エネルギー部長
平成31年4月 同社 専門主監(環境防災・エネルギー) (兼)エネルギー技術部長
令和5年6月 同社 専門主監(環境防災・エネルギー) (兼)GXインフラ開発部長

〇社外活動

平成26年 火力原子力発電技術協会 理事
令和 4年 日本鉄鋼協会 生産技術部門 熱経済技術部会 部会長



オンライン配信
(WEBサイトに掲載します)
URL: windhokkaido.com

ごあいさつ



関根 博士

WIND HOKKAIDO委員長
三菱製鋼株式会社 顧問(前取締役常務執行役員)

社会・経済はまさにアフターコロナ。皆様におかれましては、日に日に社会・経済の活発さが増している状況を肌身に感じていることと思います。さて、一方では地球温暖化から端を発している、カーボンニュートラルへの世界的な挑戦と物価高騰の影響などには、早急の対応を必要とされ、MOPA(室蘭洋上風力推進協議会)で描いてきたロードマップも具体的に推し進める段階にきております。

明治2年に北海道が誕生して以降、漁業資源、農業資源、工業資源、観光資源の発達とそれに伴い鉄路が充実したことから、北海道は順調に発展してまいりました。しかしここへきて、人口減、鉄道網の縮小が顕著となり、この流れは既存の資源のみでは衰退の道は避けられないと思います。

MOPAは室蘭の活性化を目的に立ち上げた団体ですが、北海道を除いたところでの室蘭のみの活性化はあり得ないことから、今回、北海道全体を活性化させるための一つの手段として洋上風力に関する情報を地域の方々にご提案致したく、「WIND HOKKAIDO」を開催するものです。

折しも、北海道の自然エネルギーを見据えた電力供給網の整備や北海道西沿岸域への風力発電に関する事業計画は、国から打ち出されております。本フォーラムが北海道への洋上風力事業の推進力、そして打ち出されている事業計画のための、室蘭港を含む各港湾の相互利用のための情報交換の場になることを信じ、また、日本全国各地よりご参加頂いた講演者とパネルディスカッションご参加者の皆様方に感謝を申し上げ挨拶とさせていただきます。

PREMIUM SPONSOR



SPONSOR

